

エリザベス女王の90歳の公式誕生日祝賀行事が行われる

イギリスの君主エリザベス女王の90歳の公式誕生日祝賀行事が6月10日からの3日間にわたって行われた。女王の正式な誕生日は4月21日だが、天気が良くない日が多く統計的に晴れの日が多い6月の第2週が選ばれたわけで、この様に天気で誕生日の祝賀行事が正式な誕生日と異なる事例は、これまでの君主では250年前までさかのぼり行われていた。

初日は、セントポール大聖堂での礼拝が行われた。大聖堂の正面玄関に到着した女王は、この日の為に設置された正面大階段の手すりに手を添えながら大聖堂に入場された。王室関係者やキャメロン首相、政党の党首、閣僚等が出席、公式誕生日の為に作曲された新曲が、セントポール大聖堂に所属する聖歌隊によって披露された。

2日目はバッキンガム宮殿から女王や王室関係者がそれぞれの馬車で、**The Mall**（モール）と言う1kmの直線道路を通過して、ホースガードと呼ばれる近衛兵の騎馬隊の広場まで移動、ここで**Trooping the Colour**（軍旗敬礼分裂式）と呼ばれる1600名の近衛兵が黒の熊の毛の帽子に赤や青の羽を付けて連隊を識別し、連隊や音楽隊や300頭の騎馬隊が一団でパレードしながら各連隊ごとに分裂して行き、王室関係者が見守る中、女王による各連隊の閲兵が行われた。その後、女王と王室関係者はバッキンガム宮殿に戻りバルコニーで数万人のロンドン市民の歓呼に手を振って答えられていた。その直後に、イギリス空軍のアクロバット飛行部隊**Red Arrows**が赤、白、青の煙を吐きながらバッキンガム宮殿の上空を飛行して行った。

3日目の昨日は、バッキンガム宮殿からトラファルガー広場に通じる**The Mall**（モール）で、600の様々なチャリティ団体や、抽選で入場チケット£150を購入した2300人の一般市民と招待客を含む1万人のストリートピクニックが開かれた。あいにく昼過ぎから雨が降ったり止んだりでしたが、2時頃から雨も上がりオープンカーの女王とエジンバラ公は車上から招待客に手を振って答え、チャールズ皇太子やウィリアム皇太子、王室関係者は徒歩で招待客と握手したり話しかけたりと、ひと時を過ごされた。その後、女王のスピーチがあり参加者や関係者へのお言葉を述べられていた。すっかり天気も回復した**The Mall**ではストリートパフォーマンスが始まり、チャリティ団体の手作りキャラクターを使っているパレードや踊り、ロイヤルバレエ団のダンス、スコットランドのバグパイプ演奏等の様々な歩きながらのパフォーマンスが女王の前で披露され、3日間の公式誕生日祝賀行事は終了した。3日間の模様はBBCで中継された。以下BBCや有力紙のホームページからの祝賀会の一連の画像をご覧ください。



荘厳なセントポール大聖堂



礼拝の様子、中央の黄色服をお召の方がが女王



The Mall を進む女王とエジンバラ公の御馬車



圧巻の馬300頭の近衛兵騎馬隊のパレード



ホースガードでの近衛兵の連隊パレード



御馬車上の女王とエジンバラ公



馬上のウイリアム王子



宮殿バルコニーの王室関係者、中央は女王



宮殿上空を飛行する英空軍の **Red Arrows**



雨の中、ストリートランチを楽しむ招待客



招待客に話しかけるウィリアム王子御夫妻



雨上がりのバッキンガム宮殿前のモールで招待者に手を振る女王とエジンバラ公

画像出所：BBC, Daily Telegraph, Daily Mail のホームページ